

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	放課後学習を行う機会を確保することを目的に放課後まなび教室（放課後子供教室）を地域を中心としたボランティアにより実施しているが、地域のボランティア数が足りず、運営上の負担が大きくなっている教室がある。	ボランティア数の確保のため、広報媒体での周知及び大学への募集チラシの配架依頼を行う。	・地域との協働が進み、学校（教員）の運営負担が軽減する。 ・実施回数を増やすことが可能となり、児童の学習の機会が増加する。	1年間に新規登録されたボランティア数	33	人	40	48	3 ・市民しんぶん及び学校を通じて保護者に配布される広報物等を活用することで、広く募集を周知するとともに、ボランティアセンターを置く大学に対し、ボランティア募集のチラシを配架するなど、ボランティア募集に注力した結果、1年間に新規登録されたボランティア数は目標を上回った。 ・一方で、地域によっては引き続きボランティア数が不足している教室があるため、個別にボランティア数が不足している要因を分析し、十分な実施体制を確保できるようボランティアの確保を実現したい。
③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	基礎的な学力や家庭での学習習慣が十分に身に付いていない中学校1～3年生の学習習慣の確立と基礎学力の定着及びその指導に係る教員の負担が課題となっている。	京都市立の全中学校で平日の放課後や長期休業中、地域の方々や教員志望の学生、退職教員等の協力により学習機会を提供する。	放課後の学習指導に係る教員の負担軽減。	年間を通じて月80時間超えが「ゼロ」の教員の割合（全校種）	85.8 (R4)	%	100 (本市のR6達成目標)	集計中	集計中